

## 様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 原則として4年次4月～10月に行う。詳細は実習校との協議により決定する。
②	教育実習等の実習期間・総時間数 小学校もしくは中学校3週間（120時間）
③	実習校の確保の方法 3年次のオリエンテーション（5月）にて学生に対し、教育実習までのスケジュールを説明する。夏休みを中心に実習希望校を訪問し、4年次に行う教育実習の内諾を得るように指導する。 実習年度の4月には内諾書に基づき、正式な承諾依頼書および事前指導日等のアンケートを実習校に送付する。学生は事前指導日に実習校への挨拶を行い、教育実習に関する打ち合わせを行うよう指導する。 教育委員会等による取りまとめが必要な自治体等については、事務担当である教務課より教育委員会に書類を提出する。
④	実習内容 教育実習の開始までに修得した教員に関する知識、技術等を通して体験し、教育者として必要な態度や指導力を養うために行う。学習指導、学級経営、学校経営等について、教師及び生徒に対する観察、学習指導への参加、公開研究授業（査定授業）の実施、教科外活動への参加を通して教育実習を実施する。 期間中は実習記録を作成し、実習校の指導教員による指導助言を受ける。また、授業以外においても学級運営や放課後の指導等、教育現場での活動への参加を行う。
⑤	実習生に対する指導の方法 担当教員が実習校の指導教員と密に連絡を取り、学生の実習状況を把握したうえで、学生に対して助言・指導を行う。実習期間中に1回以上、担当教員が実習校を訪問し、巡回指導を行う。巡回指導は基本的に公開研究授業（査定授業）が行われる時期に実施し、実習校の指導員と担当教員が指導に当たる。必要に応じて複数回の訪問を実施する。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 「教育実習評価表」による実習校の指導教員および校長等の評価、実習記録等により、担当教員が総合評価を行う。

2 事前及び事後の指導の内容等
① 時期及び時間数 ・教育実習事前事後指導（小・中） <ul style="list-style-type: none"><li>● 3年次後期5時間、4年次前期5時間、4年次後期5時間（合計15時間）</li></ul>
② 内容（具体的な指導項目） <p>事前事後指導は「教育実習事前事後指導（小・中）」として3年次後期から4年次後期に実施する。現職教員による講話や担当教員による経験、実践記録等を通して、実践経験を高める。</p> ○指導の内容 <ul style="list-style-type: none"><li>● 事前指導<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 教育実習の意義・目的</li><li>➤ 教育実習におけるコミュニケーションやマナー</li><li>➤ 現職教員による教育事情についての講話</li><li>➤ 模擬授業の実施</li><li>➤ 校長・教頭経験者による学校経営等に関する講話</li><li>➤ 人権教育について</li><li>➤ 教育実習報告会への参加（4年次の学生が報告）</li></ul></li><li>● 事後指導<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 学生による教育実習の振り返り</li><li>➤ 現職教員による英語教育事情についての講話</li><li>➤ 学生による教育実習の報告会（3年次の学生も参加）</li><li>➤ まとめ</li></ul></li></ul>

### 3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

#### ① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- 委員会等の名称

教職課程委員会

- 委員会等の構成員（役職・人数など）

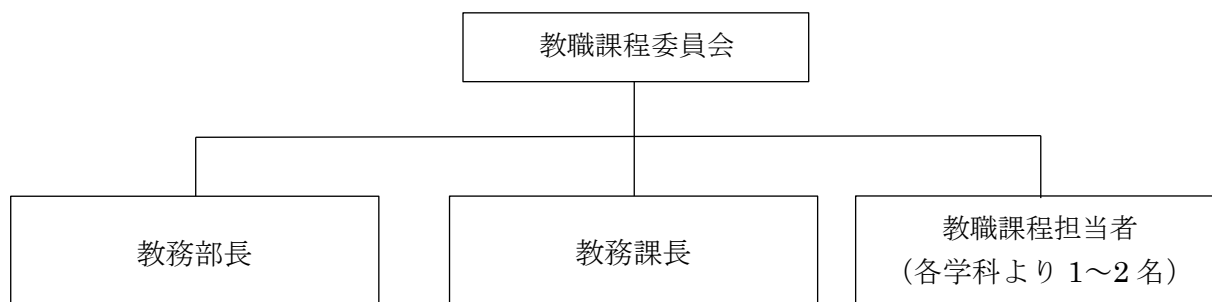
教職課程委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。ただし、委員会が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を要請することができる。

- (1) 教務部長
- (2) 教務課長
- (3) 教職課程担当者（各学科より 1～2 名）

- 委員会等の運営方法

- (1) 教職課程の編成、講義及び実習に関する事項
- (2) その他教職課程に関する事項

#### 【委員会の組織図】



#### ② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- 委員会等の名称

北九州地区大学教育実習連絡協議会

- 委員会等の構成員（役職・人数など）

福岡県内および下関地区の大学、短期大学ならびに北九州市教育委員会で構成される。加盟大学は、25 大学であり、本学もその組織の構成員である。

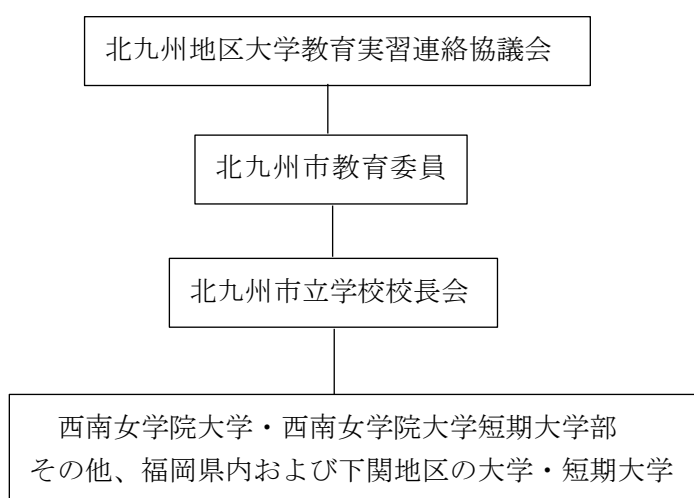
・ 委員会等の運営方法

北九州地区大学教育実習連絡協議会は、年に一度、各大学の教育実習が終了した 12 月に開催され、当該年度に生じた教育実習に関する課題点・問題点について共有する。

また、北九州市立学校の校長会も本協議会に参加し、教育実習のあり方について学校長の立場から助言が行われる。

北九州地区大学教育実習連絡協議会への本学側の出席は、教職課程委員会委員と教務課職員で出席し、協議結果を教職課程委員会や事務局の会議の場で報告し、教職員間で問題意識の共有を図っている。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

1. 以下に掲げる科目を履修済であること。

- ・ Foundations (Reading & Writing) I 2 単位 1 年次前期開設 必修科目
- ・ Foundations (Listening & Speaking) I 2 単位 1 年次前期開設 必修科目
- ・ 英語の発音とリズム I 2 単位 1 年次前期開設 必修科目
- ・ 異文化間コミュニケーション I 2 単位 2 年次前期開設 必修科目
- ・ 英語学概論 I 2 単位 2 年次前期開設 必修科目
- ・ 英語文学 I 2 単位 2 年次前期開設 必修科目
- ・ Digital Media I 2 単位 1 年次後期開設 必修科目
- ・ 英語科教育法 I 2 単位 2 年次前期開設 必修科目
- ・ 教育ボランティア演習 2 単位 3 年次前期開設 必修科目
- ・ こども英語教育演習 2 単位 3 年次後期開設 必修科目
- ・ 音楽で広がる表現の世界 2 単位 3 年次前期開設 選択科目 ※注
- ・ 遊びを通して学ぶ体育 2 単位 2 年次前期開設 選択科目 ※注

- ・ 国語科教育法 1単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 社会科教育法 1単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 算数科教育法 1単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 理科教育法 1単位 3年次後期開設 必修科目
- ・ 生活科教育法 1単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 音楽科教育法 1単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 図画工作科教育法 1単位 3年次後期開設 必修科目
- ・ 家庭科教育法 1単位 3年次後期開設 必修科目
- ・ 体育科教育法 1単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 教職概論 2単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 教育原理 2単位 1年次後期開設 必修科目
- ・ 教育心理学 2単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 教育社会学 2単位 2年次後期開設 必修科目
- ・ 教育課程論 2単位 2年次後期開設 必修科目
- ・ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 特別支援教育論 1単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 教育方法論 (ICT活用を含む。) 2単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 道德教育の理論と実践 2単位 2年次前期開設 必修科目
- ・ 生徒・進路指導論 2単位 3年次前期開設 必修科目
- ・ 教育相談(カウンセリングを含む。) 2単位 2年次後期開設 必修科目

※注 いずれか1科目を履修済みであること。

5 実習校				
教育 実習	体験 活動	学級数の合計	小学校 1854 学級、中学校 791 学級	
○	×	教育委員会名	北九州市教育委員会	小学校 : 127 校 中学校 : 63 校

## 西南女学院大学 教育実習評価表

(フリガナ) 実習生名		所 属 学籍番号	人文学部 英語学科 ( )
実習期間	令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )		
実習校名		指導教員	職・氏名

【評定】 評価項目及び総合評定について、該当するものに○をつけてください。			A(優)・B(良)・C(可)・D(不可)
教師としての 在り方	(1) 使命感や責任感	教職の意義や教員の役割、生徒に対する責務を理解している。	A B C D
	(2) コミュニケーション能力と対人関係力	① 教職員とコミュニケーションを積極的に図ろうとする姿勢があり、その能力を身に着けている。 ② 児童・生徒の心情や発達段階に配慮しながら適切な接し方ができる。	A B C D
	(3) 学校組織の一員としての役割と社会人としての基本	① 教師の職務内容や校務分掌を理解し、学校組織の一員として考えたり行動したりすることができる。 ② 挨拶や身だしなみ等で社会人としての基本的事項や法令を守ろうとする態度が身につけている。	A B C D
	(4) 課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて意欲的に学び続けることができる。	A B C D
学習指導	(5) 学習指導要領の理解と授業構想及び教材分析・開発	① 教科の内容を踏まえて目標を設定し、指導案を作成することができる。 ② 児童・生徒の実態に配慮して授業を展開するために、授業準備のための教材研究、教材作成、個人練習を行うことができる。	A B C D
	(6) 授業展開と学習指導方法・指導技術	① クラスの学習状況、個々の児童・生徒の学習態度を的確に把握しながら、適切な指導を行うことができる。 ② 児童・生徒の実態と教科の特性に応じた教授法や指導技術を用いることができる	A B C D
	(7) 授業改善	① 児童・生徒の学習状況を的確に把握し、個別指導等を適宜行うことができる。 ② 授業を振り返り、課題を整理しながら、授業改善に努めている	A B C D
学級生徒 経営	(8) 児童・生徒への関わり方	① 児童・生徒の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる。 ② 学習者の心理的な特性や状況を踏まえて児童・生徒を理解し、指導や助言を行っている。	A B C D
	(9) 学級経営	① 学級の規範作りや教室の環境構成、清掃指導等を積極的に行っている。 ② 個別指導と集団指導を適切に取り入れた学級経営を行っている。	A B C D
総合評定			A B C D

## 【出勤状況】

実習すべき日数	出勤日数	欠勤日数(理由)			遅刻・早退
日	日	病 欠	日		遅刻 回
		その他	日		早退 回

## 【所見】


上記の学生は、本校における教育実習を終了したことを認める。

令和 年 月 日

学校名

学校長

印

## 実習受入承諾書

令和7年2月27日

西南女学院大学  
学長 浅野 嘉延 殿

北九州市教育委員会  
北九州市立教育センター  
所長 砂田 剛志

西南女学院大学人文学部英語学科において、小学校二種の教員免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を受けた際には、下記のとおり本市教育委員会の所管に属する小学校及び中学校において実習生を受け入れることを承諾いたします。

## 記

北九州市立小学校の総数	127校
北九州市立中学校の総数	63校

以上